



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月14日

会社名 レシップ株式会社 (JASDAQ・コード番号：7213)

(URL <http://www.lecip.co.jp>)

代表者 代表者役職名 代表取締役社長
氏名 杉本 眞

問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理本部長
氏名 山口 芳典

(電話番号：058-323-7647)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用 : 有
の有無
(内容)
税金費用については法定実効税率による簡便な方法を採用しております。
その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便な手続きを用いております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理方法の変 : 無
更の有無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有
持分法 (除外) 1社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	11,968	△7.3	550	△41.3	558	△41.1	322	△43.0
18年3月期第3四半期	12,907	—	938	—	947	—	566	—
(参考)18年3月期	17,233	—	1,089	—	1,086	—	622	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	50	49	—	—
18年3月期第3四半期	100	54	—	—
(参考)18年3月期	96	29	—	—

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在しませんので記載しておりません。

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のわが国の経済環境は、堅調な企業の設備投資や個人消費の伸び、並びに雇用情勢の改善などにより、自立的な回復基調で推移いたしました。しかしながら、当社製品関連分野では、銅などの原材料価格が、落ち着きを取り戻す傾向にはありますものの、依然として高止まりの状況にあり、中間連結会計期間以降も引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当中間連結会計期間までは、主力のバス用運賃箱の更新需要が一巡したことや、連結子会社レシップ電子で行っておりますプリント基板実装が、受注の端境期により減少となるなど、前年同期比減収幅が大きかったものの、当第3四半期におきましては、首都圏ICカード相互利用サービスに係わるバス用ICカードシステムの納入が本格化していること、列車用蛍光灯具などその他の製品も順調に推移していることなどから、中間連結会計期間までの減収幅を縮小いたしました結果、当第3四半期の連結売上高は、前年同期比7.3%減(9億39百万円減)の119億68百万円となりました。

利益面につきましても、当中間連結会計期間までの前年同期比減益幅が大きかったことに加え、引き続き、ネオン変圧器や充電器で使用されている銅の価格高騰の影響が残るものの、当第3四半期では中間連結会計期間までの減益幅を縮小し、営業利益は前年同期比 41.3%減（3億87百万円減）の5億50百万円、経常利益は同比 41.1%減（3億89百万円減）の5億58百万円、四半期純利益は同比 43.0%減（2億43百万円減）の3億22百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	11,481	4,059	35.4	635 16
18年3月期第3四半期	10,075	3,722	36.9	592 60
(参考)18年3月期	10,512	3,895	37.1	599 65

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	△420	△297	308	467
18年3月期第3四半期	△179	△243	△310	443
(参考)18年3月期	181	△361	△127	873

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当連結第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、467百万円となり、前連結会計年度末より405百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、420百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が574百万円となったものの、売上債権の増加702百万円及び法人税等の支払額509百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、297百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、308百万円となりました。これは主に、社債の償還による支出が700百万円あった一方、短期借入金の純増額が1,259百万円となったことによるものです。

【参考】平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	17,300	1,020	1,000	580

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）90円75銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

平成18年11月15日の中間連結決算発表時に公表いたしました連結通期の業績予想につきまして、第3四半期が経過した結果をもとに、上記のとおり修正いたします。詳細につきましては、本日（平成19年2月14日）発表しております「業績予想（平成19年3月期）の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※業績予想につきましては、発表日現在の情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	587	563	23	4.2	993
受取手形及び売掛金	5,063	3,946	1,116	28.3	4,375
たな卸資産	2,097	1,818	278	15.3	1,502
その他	679	650	28	4.4	584
流動資産合計	8,427	6,979	1,447	20.7	7,454
II 固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	1,422	1,503	△80	△5.4	1,489
工具器具備品	425	396	29	7.4	387
その他	498	476	21	4.6	457
有形固定資産計	2,346	2,376	△29	△1.2	2,334
無形固定資産	89	65	23	36.0	93
投資その他の資産	617	653	△36	△5.5	629
固定資産合計	3,053	3,095	△41	△1.3	3,057
資産合計	11,481	10,075	1,405	14.0	10,512
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	3,573	2,797	776	27.8	2,808
短期借入金	1,719	280	1,438	512.8	433
1年以内返済予定 長期借入金	139	244	△104	△42.6	202
1年以内償還予定 社債	—	700	△700	—	700
賞与引当金	165	164	0	0.6	330
役員賞与引当金	29	—	29	—	—
製品保証引当金	55	45	9	19.9	56
特定製品補償損失 引当金	—	6	△6	—	—
その他	742	963	△221	△22.9	980
流動負債合計	6,425	5,202	1,222	23.5	5,512
II 固定負債					
長期借入金	678	871	△193	△22.2	783
退職給付引当金	7	5	1	29.9	5
その他	311	271	39	14.4	315
固定負債合計	997	1,149	△152	△13.3	1,104
負債合計	7,422	6,352	1,069	16.8	6,616

(資本の部)					
I 資本金	—	685	—	—	735
II 資本剰余金	—	644	—	—	719
III 利益剰余金	—	2,364	—	—	2,420
IV その他有価証券評価 差額金	—	83	—	—	82
V 為替換算調整勘定	—	△53	—	—	△50
VI 自己株式	—	△0	—	—	△11
資本合計	—	3,722	—	—	3,895
負債及び資本合計	—	10,075	—	—	10,512
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	735	—	—	—	—
資本剰余金	719	—	—	—	—
利益剰余金	2,601	—	—	—	—
自己資本	△14	—	—	—	—
株主資本合計	4,042	—	—	—	—
II 評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	65	—	—	—	—
為替換算調整勘定	△49	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	16	—	—	—	—
純資産合計	4,059	—	—	—	—
負債純資産合計	11,481	—	—	—	—

2. 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	11,968	12,907	△939	△7.3	17,233
II 売上原価	9,176	9,787	△610	△6.2	13,113
売上総利益	2,791	3,120	△328	△10.5	4,120
III 販売費及び一般管理費	2,240	2,181	58	2.7	3,031
営業利益	550	938	△387	△41.3	1,089
IV 営業外収益	54	67	△12	△19.1	83
(うち受取利息及び配 当金)	2	1	1	68.1	1
V 営業外費用	47	59	△11	△19.6	86
(うち支払利息)	29	30	△0	△2.7	39
経常利益	558	947	△389	△41.1	1,086
VI 特別利益	41	72	△30	△42.5	78
VII 特別損失	24	12	12	106.0	24
税引前四半期(当期) 純利益	574	1,007	△432	△42.9	1,140
税金費用	251	441	△189	△42.9	517
四半期(当期)純利益	322	566	△243	△43.0	622

3. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	574	1,007	1,140
減価償却費	337	330	436
賞与引当金の増減額(減少：△)	△165	△150	15
製品保証引当金の増減額(減少：△)	△1	△6	3
特定製品補償損失引当金の増減額(減少：△)	—	△15	△22
役員退職慰労引当金の増減額(減少：△)	—	△178	△178
受取利息及び受取配当金	△2	△1	△1
支払利息	29	30	39
固定資産売却損益等	2	△30	△21
売上債権の増減額(増加：△)	△702	344	△80
たな卸資産の増減額(増加：△)	△451	△455	△127
仕入債務の増減額(減少：△)	656	△531	△590
役員賞与の支払額	△62	△53	△53
その他	△99	△345	△245
小 計	114	△55	314
利息及び配当金の受取額	2	1	1
利息の支払額	△28	△28	△39
法人税等の支払額	△509	△95	△95
営業活動によるキャッシュ・フロー	△420	△179	181
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△325	△272	△356
有形固定資産の売却による収入	4	51	51
関係会社株式の売却による収入	39	23	23
その他	△16	△46	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297	△243	△361
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少：△)	1,259	△236	△92
長期借入金の返済による支出	△167	△253	△327
社債の償還による支出	△700	△500	△500
株式の発行による収入	—	735	859
自己株式の取得による支出	△3	—	△11
配当金の支払額	△79	△55	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	308	△310	△127
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4	5	8
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△405	△727	△298
VI 現金及び現金同等物の期首残高	873	1,155	1,155
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	—	27	27
VIII 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少	—	△10	△10
IX 現金及び現金同等物の期末残高	467	443	873